

令和6年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立けやき小学校

全国学力学習状況調査（小学校第6学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	51.70%	・全体を通して、国や都の平均と同程度か上回っている問題が多かった。特に「言葉の使い方に関する事項」の問題においては、全国平均より10%以上高かった。課題解決の学習方法を積み重ね、実生活でどう生きるかを指導してきたことが、着実に成果につながっていると考えられる。	・「読むこと」についての問題は正答率に差が見られた。登場人物の心情把握などの問題は正答率が高い反面、物語全体を把握したり表現の効果を考えたりする問題は難しさを感じている児童が多かった。また、自分の考えを工夫して表現する問題に課題が見られた。自分の考えを話したり書いたりする機会を増やし、文章にまとめる力を付けていく。
	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる	60.90%		
算数	問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ	59.80%	・数量関係（□を用いた式）の問題については95.4%とかなり正答率が高かった。また、データ整理の問題についても全国平均より10%程度高く、学習の定着が見られた。習熟度に合わせて指導方法を工夫し、反復練習を行っていることが、成果につながっていると考えられる。	・同じ領域でも単元によって正答率に差が見られた。特に「データの活用」の領域では、考えたことを記述する問題が37.9%と苦手意識が高いことがうかがえる。計算問題などはできている児童が多いが、文章題から問題を把握し答えを導くことに課題が見られた。自分の考えの根拠を順序良く並べて説明する活動を意図的に取り入れて指導していく。
	折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる	37.90%		
	直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる	65.50%		